

\*\*\*\*\*  
**赤潮情報（定期赤潮調査結果）**  
 \*\*\*\*\*

鹿児島県水産技術開発センター  
 令和4年7月27日

八代海赤潮情報No.4

[1] 7月26日の八代海南部調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡により、7ヶ所の調査定点でシャットネラ アンティーカが0.3細胞/mL（1mLを3回計数した平均値）確認されました。また、カレニア ミキモトイが調査定点④で1細胞/mL確認されました。

濃縮検鏡により、シャットネラ属が全ての調査定点（6ヶ所）で確認されました（最高0.123細胞/mL，調査定点①）。

珪藻類は調査定点⑤，⑨は多く，他は少ない状況でした。

(2) 海況

水温：平均 28.2℃（平年比+2.6℃，高い）

塩分：平均 29.6（平年比-0.7，やや低い）

透明度：平均 9.0m（平年比+1.2m，やや高い）

※平年値は平成元～令和3年の7月の平均値

【八代海南部調査】

調査日：2022.7.26(火)

天候：くもり時々晴れ

調査時間：7:27～11:15

- ・通常検鏡 シャットネラ アンティーカを7調査定点で0.3細胞/mL確認（1mLを3回計数した平均値）  
 カレニア ミキモトイを調査定点④で1細胞/mL確認
- ・濃縮検鏡 実施した全定点（6ヶ所）でシャットネラ属を確認
- ・その他 珪藻類はSt.⑤，⑨は多く，他は少ない。

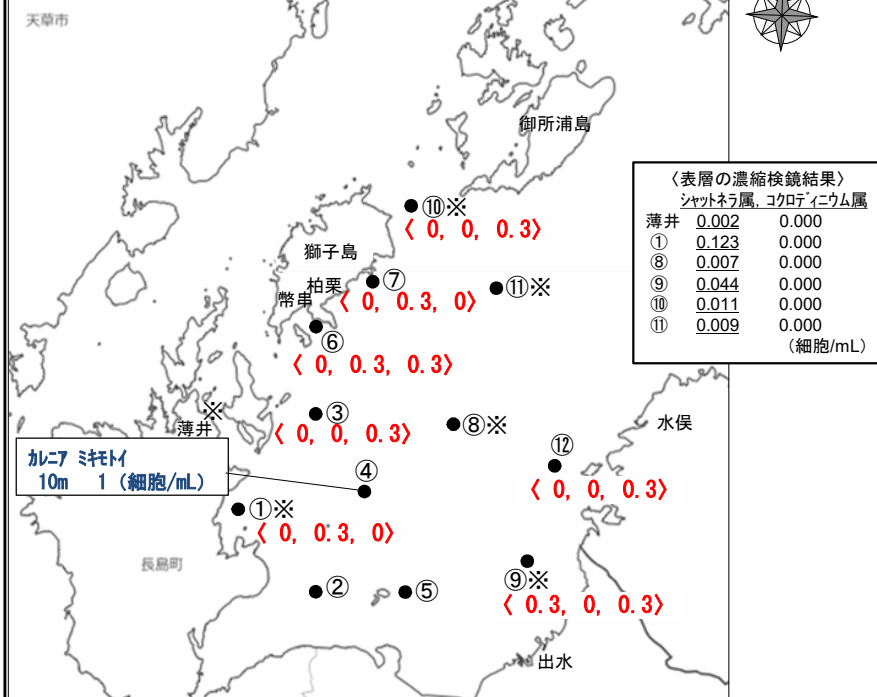
薄井及び調査定点①～⑫の測定結果

- ・平均表層水温：28.2℃ → 平年比 +2.6℃ 高い
- ・ " 塩分：29.6 → 平年比 -0.7 やや低い
- ・ " D O：7.0mg/L → 平年比 -0.3mg/L 平年並み
- ・ " 透明度：9.0m → 平年比 +1.2m やや高い

※平年値：平成元年～令和3年の7月の平均値

〈 〉内：0m, 5m, 10mのシャットネラ アンティーカの細胞密度(細胞/mL)

●細胞密度の記載がない点は検出されず



※は表層海水を濃縮検鏡した調査定点

鹿児島県水産技術開発センター

[2] 今後の赤潮発生の予想  
 有害種であるシャットネラ属が広範囲で確認されています。

現在，競合種である珪藻類は一部では多いものの，広範囲で少ない状況であり，今後の状況によっては有害種が増殖する可能性がありますので注意が必要です。

各漁協・養殖業者におかれましては，定期的な検鏡等を継続し，十分な監視をお願いします。

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

